

「グリーンイベントガイドラインおかやま」の策定について

1 目的

県内で開催されるイベント（主体・規模を問わない）において、環境配慮の取組が行われ、地球温暖化防止（二酸化炭素排出削減）につながるよう、グリーンイベントの普及を図る。

グリーンイベントマーク
〈グリーンレベル5の例〉

2 概要

- ・ イベント主催者からの申請に基づき、県がグリーンイベントとしての登録を行う。
- ・ 主催者は登録されたイベントについて、取組項目数により「グリーンイベントマーク」を使用することができる。
- ・ 主催者は必要に応じ、グリーンイベントアドバイザーの紹介が受けられる。
- ・ 県は、主催者から報告された取組結果を公表する。



取組事項 (全53項目)	
1 自然環境への配慮	(5項目)
2 ごみ削減とリサイクル	(15項目)
3 交通手段の工夫	(10項目)
4 省資源・省エネルギー	(10項目)
5 参加者への環境意識啓発等	(6項目)
6 運営体制の整備	(7項目)

グリーンレベル	取組項目数	使用可能マークの葉の枚数
1	6～10項目	1枚
2	11～20項目	2枚
3	21～30項目	3枚
4	31～40項目	4枚
5	41項目以上	5枚

(※6分野全てにおいて各1項目以上の取組があることが必要)

3 普及推進

市町村、エコパートナーシップおかやま、岡山県地球温暖化防止活動推進センターなどを通じ、行政機関、民間団体、地域団体等への周知を図る。

～参画社会であなたもかわる 明日が変わる～

会場:きらめきプラザ 301会議室

11/14(土)



12:30～ 開場
13:00～ 開会・挨拶、表彰式

●記念講演 **家族も仕事も！人生をまるごと楽しむ方法**

●講師 **石坂 啓**さん(漫画家)

1978年に上京し、故・手塚治虫氏に師事。1979年に独立し、現在に至る。

主な作品に『キスより簡単』『セカンドベスト』などがある。

1999年の作品『アイ'ムホーム』により、文化庁メディア芸術祭マンガ部門で大賞を受賞。エッセイ集『赤ちゃんが来た』は大ベストセラーとなる。その他著書多数。

●先着240人(〆切り11月6日) ●手話通訳あり ●託児あり(要電話予約〆切り11月6日)

オープニング 9:30～ きらめきプラザ6階ウィズセンター内

ウィズセンター会議室

10:00～12:00
「家庭における介護の方法」
講師:江田純子さん
■岡山県訪問看護ステーション
連絡協議会

13:00～15:00
体験報告「生ごみを減して、持
続可能な町をつくりたい」
■I女性会議岡山

18:00～20:00
レイプは“魂の殺人”です
～事件後あなたらしく生きるために～
講師:河原尚子さん(岡山県警察本部)
河原理子さん(朝日新聞編集委員)
■被害者サポートセンターおかやま(VSCO)

401会議室

10:00～12:00
クリスマスリースづくりと
ユニセフミニ講座
講師:多田治子さん
材料代800円
先着40名(〆切り10月31日)
■財日本ユニセフ協会岡山県支部

13:30～15:00
「自力整体でしなやか
人生をゲット!」～自分の体
の本音を聞いてアンチエイジング～
講師:山本安美さん(しなやか道場主催者)
■岡山県女性のバス13期会

705会議室

10:30～12:00
「メルハバ!(こんにちは)
アリとさやかの国際結婚」
講師:ソイル田邊アリさんと
ソイル田邊さやかさんご夫妻
■おかやま女性国際交流会

13:00～15:00
CAPワークショップ
「男らしく?
女らしく?
自分らしく!」
■CAPおかやま

706会議室

10:00～12:00
「電話の向こうに見える
子どもたち」～チャイルド
ラインおかやまを実施して～
講師:西崎宏美さん
■NPO法人子ども劇場
岡山県センター

14:00～16:00
地域に活かそう!
「魔法のつえ」～女性差別撤廃
条約30年のこれまでとこれから～
ファシリテーター:日本女性差別撤廃
条約NGOネットワーク(JNNC)
■世界女性会議岡山連絡会

ウィズセンター会議室

10:30～12:00
母性保護論争はなぜ起きた?
『晶子 vs らいてう』
講師:沢山美果子さん(岡山大学大学院客員研究員)
井久保伊登子さん(女性史研究・随筆家)
■イースト岡山女性ネットワーク&
14期岡山県女性のバス

15:30～17:30
「母」たちの戦争と平和
～戦争を知らないわたしとあなたに～
講師:源淳子さん(関西大学人権問題
研究室委嘱研究員)
■「慰安婦」問題を考える女たちの会

11/15(日) 401会議室

11/15(日) 401会議室

13:30～15:30
実行委員会自主企画事業
《朗読劇》モモタロー・ノー・リターン
《講演》「男だてら」に「女泣き」
《講師》奥山和弘さん(静岡県立掛川西高等学校 副校長)
●託児あり(要電話予約〆切り11月6日)



11/11(水)～15日
ウィズセンター内
登録団体
パネル展

- イーブくらしきネットワーク
- NPO法人おかやま犯罪被害者サポート・ファミリーズ
- 岡山県交通安全母の会連合会
- 岡山県退職女性教職員会
- 岡山県婦人問題懇話会
- 岡山市婦人防火クラブ連絡協議会
- おかやま女性国際交流会
- 岡山県母子寡婦福祉連合会
- 財日本ユニセフ協会岡山県支部
- 社団法人岡山県女性協会岡山支部
- スペシャルオリンピックス日本・岡山
- 世界女性会議岡山連絡会

11

11

14

土

参加費 無料
申込方法 電話・FAX・はがき又はEメール ①希望行事名 ②氏名 ③電話番号を明記

申込先 岡山県男女共同参画推進センター(ウィズセンター)
〒700-0807 岡山市北区南方2-13-1きらめきプラザ6階 ※月曜日、祝日は休館

☎086-235-3307 ㊟086-235-3306 Eメール: danjo@pref.okayama.lg.jp
主催 ウィズフェスティバル2009実行委員会 岡山県男女共同参画推進センター



11月は男女共同参画推進月間です

岡山県では、毎年11月を男女共同参画推進月間として定め、男女共同参画意識の普及・啓発に取り組んでいます。

また、今年は、男女共同参画社会基本法の制定から10年に当たる節目の年です。性別に関わりなく、男女がともに個性や能力を發揮できる男女共同参画社会を目指していきましょう。

- ・男女共同参画に関するパネル展示（11/18(水)～30(月)） 県庁1階県民室
- ・県立図書館に特設コーナー開設（11/21(土)～12/16(水)） 県立図書館2階
- ・国連女性差別撤廃条約採択30周年関係資料、パネル展示及びDVD上映（11月中）
ウィズセンター（資料提供：世界女性会議岡山連絡会）

《月間中は市町村でもさまざまな行事が開催されます》

日 時	会場・問い合わせ先	行 事 名
11月6日(金) 13:30～15:00	赤磐市立中央図書館 多目的ホール 岡山赤磐市市民生活部市民課 ☎086-955-1114	赤磐市男女共同参画セミナー 「心癒す音色、パンフルートの響き ～第二の人生はパンフルートと共に～」 講師：今井 勉さん（パンフルート演奏家） ※対象は、赤磐市内に在住・在勤の方
11月7日(土) 13:30～15:30	きらめきプラザ4階 401会議室 岡山ウィズセンター ☎086-235-3307	ストップDV講座 「DVの心理～ドラマ『ラストフレンズ』から～」 講師：小倉 千加子さん（心理学者）
11月8日(日) 10:30～15:00	操山公園里山センター 岡山さんかく岡山 ☎086-803-3355	「今日は子どもと一緒に！木の実を集めて何つくろう ～仕事と生活の調和をめざして～」
11月8日(日) 13:30～15:30	岡山市男女共同参画社会推進センター 「さんかく岡山」会議室 岡山さんかく岡山 ☎086-803-3355	●講演「育児休業をとって良かった？出世を諦めたの？」 講師：山田 正人さん（経済産業研究所） ●シボゾム「ワーク・ライフ・バランスは実現可能か？」
11月15日(日) 10:00～12:00	ウィズセンター会議室 岡山ウィズセンター ☎086-235-3307	〈男女共同参画推進月間ウィズセンター共催事業〉 「女の出演」 講師：後藤 祥子さん（前 日本女子大学学長） 主催団体：(社)日本女子大学教育文化振興桜楓会岡山支部
11月15日(日) 13:00～15:45	浅口市ふれあい交流館 「サンパレア」大ホール 岡山浅口市企画財政部企画情報課 ☎0865-44-9034	浅口市人権・男女共同参画啓発講演会 「人生は一番でなくてもいい ～生まれてきてくれてありがとう～」 講師：松野 明美さん（元マラソンランナー、タレント） ※対象は、浅口市内に在住・在勤の方
11月20日(金) 10:00～15:30	津山男女共同参画センター「さん・さん」 岡山「さん・さん」 ☎0868-31-2533	「Re-Beワークセミナー（再就職準備セミナー）」 ●「企業が採用したい人ってどんな人？ ～みんなで考える募集と応募のマッチング！～」 講師：(財)21世紀職業財団岡山事務所 再チャレンジサポートコンサルタント ●「コミュニケーション力を身につけよう！ ～好感の持てる話し方～」 講師：森田 恵子さん（フリーアナウンサー） ●メイクアップ実習 「笑顔でイキイキ！自分磨き！ ～素敵な笑顔になるための秘訣～」 講師：石田 奈々さん (資生堂販売(株) 中四国支社 東中国支店)
11月22日(日) 13:30～15:00	和気町福祉センター 岡山和気町社会教育課 ☎0869-93-1237	和気町男女共同参画講演会 「男女共同参画社会の望ましい姿について～体験を通して～」 講師：日高 邦博さん（福岡市男女共同参画審議会委員）
11月28日(土) 10:00～12:00	備前市市民センター 岡山備前市民生部人権啓発課 ☎0869-64-1823	備前市男女共同参画啓発事業「いきいきセミナー」 「暮らしを彩る読書のススメ ～感じる・つながる・開かれる～」 講師：光田 尚美さん（関西福祉大学 社会福祉学部講師）

※詳細については、各問い合わせ先へご連絡ください。

ウィズセンター きらめきプラザ6階

(岡山県総合福祉・ボランティア・NPO会館)
岡山市北区南方2-13-1 (旧国立岡山病院跡地)
公共交通機関でお越しください
JR岡山駅から徒歩15分程度

岡山駅前から

〔岡電バス〕津高方面・万成方面行「跨線橋東」下車 徒歩約4分

〔中鉄バス〕津高方面・一宮方面行「跨線橋東」下車 徒歩約4分

〔宇野バス〕赤磐方面行「番町口」下車 徒歩約3分

天満屋バスセンターから

〔岡電バス〕三野・妙善寺方面行「番町口」下車 徒歩約3分



グリーンイベントガイドライン おかやま

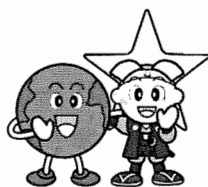
* * * 低炭素社会の実現に向けて * * *

地球温暖化問題は、その予想される影響の大きさや深刻さから見て、人類の生存基盤に関わる重要な環境問題であり、その原因は人間の諸活動に起因する温室効果ガスの増加とされています。

今後、このまま温室効果ガスの排出を削減できなければ、さらに気候が変動し、これまでにない自然災害などが発生することが予想されており、わたしたちは、社会・経済活動、そして個人の日常生活におけるあらゆる場面において、温室効果ガスの排出を最小化するための配慮を徹底し、着実に実践する必要があります。

このような観点に立ち、県内各地で開催されるイベントにおいても、資源の大切さや地球温暖化防止の意識を高め、環境に配慮した取組を実践していくため、このガイドラインを策定しました。

平成 2 1 年 1 0 月 (初版)



岡 山 県

1 はじめに

このマニュアルには、環境に対する影響をできるだけ少なくイベントが実施できるよう、主催者が取り組むべき内容を掲載しています。イベントを開催するときはその取組事項に沿ってできる限りのことを実践しましょう。

2 取組事項

① 自然環境への配慮

人と環境・地域にやさしいイベントにします。



② ごみ削減とリサイクル

ごみの削減に努めるとともに、できるだけリサイクルします。

③ 交通手段の工夫

公共交通機関や自転車等の利用を促します。



④ 省資源・省エネルギー

資源やエネルギーの使用を減らし、できるだけ自然エネルギーで賄います。



⑤ 参加者への環境意識啓発等

参加者へ環境配慮の取組を積極的にアピールします。



⑥ 運営体制の整備

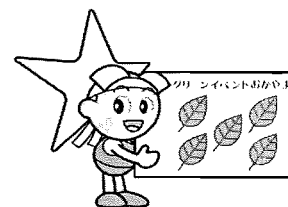
取組事項が実行されるよう運営体制(責任体制)を整えます。

3 グリーンイベント登録手続きの流れ

- (1) 主催者はチェックシートで取り組む内容を決め、記載したチェックシートを事務局に提出します。(登録には、上記6分野全てに少なくとも1項目以上、取組があることが条件となります。)
- (2) 事務局は、ホームページ上にイベントグリーン化宣言されたイベントを掲載します。
- (3) 主催者は取組項目数に応じたグリーンイベントマークをポスター、チラシ等に使用することができます。(別途、事務局に申請が必要です。) また、ガイドラインの利用にあたって、アドバイスが必要な場合は、事務局に支援を要請することができ、その場合、事務局はグリーンイベントアドバイザーを紹介します。(アドバイザーの派遣等にかかる費用は、主催者の負担になります。)
- (4) 主催者はイベント実施後、取組項目の実施状況を事務局に報告し、事務局はその取組結果をホームページに掲載します。

グリーン レベル	グリーン 宣言度	実施項目数（全53項目）
1	♻	20%未満（6～10項目）
2	♻♻	20%以上（11～20項目）
3	♻♻♻	40%以上（21～30項目）
4	♻♻♻♻	60%以上（31～40項目）
5	♻♻♻♻♻	80%以上（41項目以上）

グリーンイベントマーク
(グリーンレベル5の例)



□基本項目 24項目 ◇発展項目 29項目

4 個別取組事項

(1) 自然環境への配慮(取組項目数 _____ 項目 / 5項目)

イベントの開催にあたっては、可能な限り自然環境へ配慮した計画をたて、人と環境・地域にやさしいイベントを実施します。

- 会場及び周辺の自然環境にできるかぎり配慮したイベントを計画します。
- 自然や生態系にはできるだけ手を加えないようにします。
- 自然に手を加えた場合は、回復に努めます。
- 会場設営にあたっては、既存施設の活用や再生利用可能な資材・物品や地元で供給可能な食材を使用し、自然環境への影響を最小限にします。
- ◇ 会場施設の整備にあたっては、地形の著しい改変をできるかぎり避けるなど、自然や生態系、景観等に配慮した工法をとります。

(2) ごみ削減とリサイクル(取組項目数 _____ 項目 / 15項目)

イベントでは大量のごみが発生します。イベントの開催にあたっては、「3R＝(リデュース:ごみを減らす、リユース:繰り返し使う、リサイクル:再資源化する)の考え方」に基づき、ごみの削減に努め、やむを得ず発生した場合は可能な限りリサイクルしてごみの排出量を少なくします。

- チラシや資料等の印刷物は作成部数を必要最小限にします。
- イベントの案内はインターネット、電子掲示板等の電子情報を活用します。
- ポスター、チラシ等の配布物は、再生紙・再生品を利用します。
- ごみは、分別回収ボックスを設置し、イベント会場の市町村のルールに沿ってきちんと分別します。
- あまったチラシや資料等は、主催者が持ち帰り、再使用・再生利用します。
- マイバッグ、マイ箸、マイ水筒、マイカップ等の持参を呼びかけます。
- 看板、パネル、会場装飾等の資材や展示物は、既存のものまたは再利用できるものを活用します。
- ◇ 両面印刷やプロジェクターを活用し配付資料をできるだけ削減します。

- ◇参加者に分別回収への協力を促し、わかりやすい案内表示に努めます。
- ◇参加者や出展者に「ごみの持ち帰り」を求めます。
- ◇出展者等に簡易包装を求めます。
- ◇飲食に使用する容器は、リユース(再利用)食器を利用することを求めます。
- ◇リユース食器を利用できない時は、紙や生分解性プラスチックなど環境に配慮したものを使用します。
- ◇カン、ビン、ペットボトル、牛乳パック類、割箸などは分別してリサイクルに協力します。
- ◇食べ残しなどの生ゴミは、できるだけ環境に負荷がかからない処理方法を検討します。

(3) 交通手段の工夫(取組項目数 _____ 項目 / 10項目)

イベント会場には大勢の人が様々な交通手段を使って来場します。とりわけ、自動車の利用は、排ガスによる大気汚染や騒音、交通渋滞の原因になるだけでなく、使用する化石エネルギーの量も多く地球温暖化の原因にもなります。イベントの開催にあたっては、公共交通機関や自転車等の利用を促し環境負荷をできるだけ小さくします。

- 徒歩、自転車、公共交通機関での来場を呼びかけます。
- 駐車場における、アイドリング・ストップを呼びかけます。
- シャトルバス、パークアンドライドの導入、自動車の乗り合わせなど効率的な交通手段を提案します。
- ◇会場は公共交通機関を利用しやすい開催場所を優先的に選定します。
- ◇公共交通機関やシャトルバスの運行情報をチラシやポスターに掲載します。
- ◇公共交通機関での参加者には、何らかの特典を設けます。
- ◇交通経路の情報提供を実施するとともに、必要に応じて交通整理員を配置します。
- ◇スタッフの移動にも徒歩、自転車、自動車の乗り合わせを徹底します。
- ◇環境配慮型駐車場(駐車エリア)を設定します。[エコカー、乗合せ3人以上など]
- ◇資材の運搬やスタッフの移動の際は、できるだけ電気自動車、ハイブリッド車などの低公害車を活用します。

(4) 省資源・省エネルギー(取組項目数 _____ 項目 / 10項目)

イベントでは、多くの資源やエネルギーを使用します。イベントの開催にあたっては、資源やエネルギーを大切に使用し、使用の削減に努めます。また、可能な限りエネルギーは自然エネルギーで賄います。

- 資源やエネルギーの使用をできる限り抑えます。
- 資材、物品等の購入にあたっては、環境に配慮したものを優先的に購入します。

- 冷暖房温度を適切に管理し、必要最小限の使用とします。
- 印刷物には再生紙、エコインクなど環境に配慮した素材を使用します。
 - ◇資材、物品等はできるだけ地域で生産されたものを調達するよう努めます。
 - ◇機器の使用や調達に関しては、省エネルギー機器を優先的に扱います。
 - ◇省資源型設備の整備された施設を優先的に選定したり、設備導入の際には、節水型トイレや雨水利用システム等を検討します。
 - ◇記念品やスタッフジャンパー等は環境にやさしい製品とします。
 - ◇照明・音響は過大とならないよう努めます。
 - ◇会場の照明、動力源等に再生可能エネルギー[太陽光発電、BDF(バイオディーゼル燃料)発電、風力発電、太陽熱]を活用します。
(グリーン電力証書<自然エネルギーで発電された電力の環境価値を証書化し、取引できるようにしたもの>の購入等を含む。)

(5) 参加者への環境意識啓発等(取組項目数 _____ 項目 / 6 項目)

イベントには多くの人に参加し、環境保全に対する理解や実践活動を促進するよい機会になります。イベント開催にあたっては、参加者へ環境配慮の取組を積極的にアピールします。

- 環境に配慮したイベントであることをポスター、チラシに明記してPRします。
- 環境配慮の取組を会場内の掲示等によって参加者に伝え協力を求めます。
- ポイ捨て防止のため、喫煙場所を設定します。
 - ◇資料等に環境保全のメッセージや身近な実践活動を表示します。
 - ◇イベント終了後に、参加者や出展関係者と共同で清掃活動を実施する等環境への意識啓発に努めます。
 - ◇CO2排出量を(簡易)算定し、主催者及び参加者によるカーボンオフセット(後述)に取り組みます。

(6) 運営体制の整備(取組項目数 _____ 項目 / 7 項目)

取組事項が効果的に実行されるために、計画、準備の段階から開催、終了後まで運営体制(責任体制)を整えます。

- 環境配慮を進めるための体制を組織し、企画段階から環境に配慮します。
- 環境配慮を推進する責任者を決めて、進行管理を行います。
- スタッフ各人が環境配慮のイベントであることを自覚し、実践します。
 - ◇実施計画、運営マニュアル等において、環境取組項目を明記します。
 - ◇スタッフや出展者等に取組項目等を事前に説明し、環境取組の徹底を図ります。
 - ◇各種ボランティア団体等との連携・協働を図ります。
 - ◇環境配慮の取組実績を記録し、今後の開催に役立てます。(ごみの発生量、資源・エネルギーの使用量等)

5 CO2排出量の推計

イベント等を開催すると、エネルギー（電気・ガソリンなど）使用によるCO2が排出されます。排出量を実際に測定することは困難な場合が多いため、おおむねの排出量を次のとおり計算してみましょう。

(1) 主催者による排出分について(簡易積算例)

会場の(延床)面積が分かる場合

・ オフィスビルの会議室等使用例

(排出係数推計値) (利用時間)

_____ m² × 0.051 × _____ 時間 = _____ kgCO2

((財)省エネルギーセンター「オフィスビルのエネルギー消費構造調査結果」により推計)

・ ホテル等の会議室・ホール使用例 (岡山県内ホテル事例等から推計)

_____ m² × 0.034 × _____ 時間 = _____ kgCO2

・ コンベンションホール使用例 (岡山県内大規模展示場事例等から推計)

_____ m² × 0.027 × _____ 時間 = _____ kgCO2

(一般的な参考事例)

- ・ 数万人規模の野外コンサート: 約5,000kWh × 0.555 = 2,775kgCO2
- ・ 数千人規模のシンポジウム : 約2,000kWh × 0.555 = 1,110kgCO2
- ・ 数百人規模の小さなイベント: 約1,000kWh × 0.555 = 555kgCO2

(2) 来場者による排出分について(簡易積算例)

・ 来場者数に応じて、次の割合により計算してみましょう。

	(来場者数)	(構成割合)	(燃料消費量等)	(排出係数)	
					<参考比率>
自動車	10km圏内		× _____ <50>% × 2 L × 2.3 =	_____	kgCO2
	20km圏内		× _____ <30>% × 4 L × 2.3 =	_____	kgCO2
	30km圏内		× _____ <7>% × 6 L × 2.3 =	_____	kgCO2
	40km圏内		× _____ <5>% × 8 L × 2.3 =	_____	kgCO2
	50km圏内		× _____ <3>% × 10 L × 2.3 =	_____	kgCO2
鉄道			× _____ <2>% × km × 0.019 =	_____	kgCO2
バス			× _____ <1>% × km × 0.053 =	_____	kgCO2
合 計				_____	kgCO2

(注) 参考比率は、エコスタ2008(コンベックス岡山)来場者アンケート結果から推計しています。会場の立地条件等により構成割合は調整してください。

6 カーボンオフセット

イベント等を開催すると多くのCO₂が排出されますが、これを様々な取組を行うことで埋め合わせて、できるだけゼロに近づけることが求められています。

(これをカーボンオフセットといいます。)

主催者、参加者が、イベントの開催に係るCO₂の排出量を意識し、それぞれが取組を行うことで、カーボンオフセットを進めていきましょう。

(1) 主催者によるカーボンオフセット

- ・主催者・出展者のエネルギー使用量を計算する。
- ・出展者・参加者へカーボンオフセットへの取組を呼びかける。
- ・太陽光発電などの再生可能エネルギーを導入する。
- ・グリーン電力証書(自然エネルギーで発電された電力の環境価値を証書化し、取引できるようしたもの)を購入する。
- ・事務所等で省エネなどの取組を行い、CO₂の排出量を削減する。

(2) 来場者によるカーボンオフセット

- ・イベント参加のためのエネルギー使用量を計算する。(交通機関利用)
- ・家庭における取組を行う。(冷暖房温度、待機電力、エコドライブなど)
- ・緑の募金活動への協力や森林里山の保全活動に参加する。

(CO₂の算出方法例)

電力	<input type="text"/>	kWh	(排出係数) × 0.555	=	<input type="text"/>	kgCO ₂
ガス(都市・LP)	<input type="text"/>	m ³	(都市ガス) (LPガス) × 2.1または6.5	=	<input type="text"/>	kgCO ₂
水道	<input type="text"/>	m ³	× 0.36	=	<input type="text"/>	kgCO ₂
ガソリン	<input type="text"/>	ℓ	× 2.3	=	<input type="text"/>	kgCO ₂
軽油	<input type="text"/>	ℓ	× 2.6	=	<input type="text"/>	kgCO ₂
灯油	<input type="text"/>	ℓ	× 2.5	=	<input type="text"/>	kgCO ₂
ごみ	<input type="text"/>	kg	× 0.34	=	<input type="text"/>	kgCO ₂
<hr/>						
合計 <input type="text"/>						kgCO ₂

(例:10km/ℓの自動車イベント会場まで往復20km走れば2ℓの消費です。)

＜家庭における 1 人 1 日 1 Kg CO2削減生活への取組例＞（出典：環境省ホームページ）

削 減 項 目	CO2削減量 (g)	
毎朝のシャワータイムを 1 分短く	-74	
冷蔵庫を省エネタイプにする	-132	
冷蔵庫は壁から離す	-19	
冷蔵庫の中を詰め込み過ぎない	-18	
運転中は常に急な加速をしないよう心がける	-73	
発進時はふんわりアクセル「eスタート」をする	-207	
車のアイドリングを 5 分短く	-63	
出かけるときは電気機器の主電源をこまめに切って待機電力を節約する	-65	
暖房の設定温度は 22℃から 20℃に 2℃低くする	-96	-90
冷房の設定温度は 26℃から 28℃に 2℃高くする	-83	
1 日の冷房の使用時間を 1 時間分減らす	-26	-32
1 日の暖房の使用時間を 1 時間分減らす	-37	
お気に入りのマイバックでお買い物、 お店では包装の少ない品物を選ぶ	-62	
1 日のパソコンの使用時間を 1 時間減らす	-13	
家に帰ってまず点ける部屋の明かりを電球型蛍光ランプに替える	-45	
残ったご飯をジャーで保温しないようにする	-37	
食器を洗うガス給湯器の温度を低く設定する	-29	
ごみの分別を徹底して廃プラスチックをリサイクルする	-52	
電球（蛍光ランプ）を早く消して寝る	-2	
合 計	-1013	

問い合わせ先（事務局）

岡山県生活環境部環境政策課
 〒700-8570 岡山市北区内山下2丁目4-6
 TEL: 086-226-7297 FAX: 086-231-8094
 メールアドレス: kansei@pref.okayama.lg.jp